

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畜産環境総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	雄武中央
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 0 0, 0 0 0千円	
年 効 用	②	8 3, 5 8 8千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	1 8年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 8 1 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 0 3 1, 9 5 1千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	7 6, 4 6 8	家畜排せつ物処理施設の整備による畜産環境の改善及び有機質堆肥等の活用
営農経費の節減	営農経費節減効果	4, 5 1 9	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	2, 6 0 1	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		8 3, 5 8 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畜産環境総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	登 別
-----	------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	510,000千円	
年 効 用	②	53,408千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	13年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1027	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	520,039千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.02	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	48,248	家畜排せつ物処理施設の整備による畜産環境の改善及び有機質堆肥等の活用
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,111	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	3,049	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		53,408	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畜産環境総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東 足 寄
-----	------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	750,000千円	
年 効 用	②	94,089千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	12年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1093	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	860,833千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.15	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	92,138	家畜排せつ物処理施設の整備による畜産環境の改善及び有機質堆肥等の活用
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,263	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	688	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		94,089	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畜産環境総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	上 浦 幌
-----	------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	600,000千円	
年 効 用	②	70,118千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	12年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1093	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	641,519千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	66,417	家畜排せつ物処理施設の整備による畜産環境の改善及び有機質堆肥等の活用
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,356	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	345	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		70,118	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畜産環境総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	久 著 呂
-----	------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	380,000千円	
年 効 用	②	29,443千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	20年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0750	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	392,573千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	26,635	家畜排せつ物処理施設の整備による畜産環境の改善及び有機質堆肥等の活用
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,610	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	1,198	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		29,443	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畜産環境総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊 美 中
-----	------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	710,000千円	
年 効 用	②	89,798千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	11年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.1171	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	766,849千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.08	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	85,576	家畜排せつ物処理施設の整備による畜産環境の改善及び有機質堆肥等の活用
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,878	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	2,344	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		89,798	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畜産環境総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	羅 白
-----	------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	410,000千円	
年 効 用	②	36,478千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	16年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0874	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	417,368千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.02	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	33,738	家畜排せつ物処理施設の整備による畜産環境の改善及び有機質堆肥等の活用
営農経費の節減	営農経費節減効果	990	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	1,750	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		36,478	